



ふじみ

学校ホームページ <http://higashimurayama.ed.jp/e15-fujimi/>

令和7年5月1日発行

東村山市立富士見小学校

〒189-0024 富士見町 5-4-57

TEL042-391-8194

校長 戸崎 晃

世の中に正解はない

ただし、答えは無数にある

校長 戸崎 晃

「先生が言っていた、あの言葉を今でも覚えています。」

久しぶりに会った教え子にそう言われました。

標記は、私が6年生の担任だった頃、卒業にあたってクラスの子供たちに贈った言葉です。卒業し、中学、高校とこれから多くの人とかかわり、多くの出来事を経験する中で、どう行動・対処すればよいのか悩み、時には失敗し後悔することもあるでしょう。そんなとき、これまでの経験と知識・情報等、できる限りの判断材料の中で出した結論に、そして結論を出せた自分に、自信をもって生きてほしい。そして、常に振り返り、さらにより良い答えを求め成長していったほしい。また、周りの人たちの答えを尊重し、認め合って互いに成長していったほしい。そんな願いを込めて最後の授業で話しました。

成長過程にある子供たちが集団で学校生活を送る中では、互いの経験や価値が違う上に語彙量や言葉の感覚が違うために、思いがうまく伝わらずトラブルが起きることがあります。自分では良いこと、正しいことと判断した言動でも、意図せず、相手にとって嫌なことになる場合もあります。相手自身の状況（機嫌がいい・悪い、疲れている・元気、急いでいる・のんびりしている等）によって、同じ言動でも捉えられ方が変わってくることもあります。何がよいとか正解だとか、そんな答えのない世界に私たちは生きているのではないかと感じることもあります。

私も親として我が子の教育に日々苦戦しているところですが、思えば子育てにも正解というものはないかと…。良かれと思ってやっても逆効果だったり、思わぬことが効果を発揮したり、一喜一憂、日々試行錯誤の繰り返しです。私は教育に携わる職業柄、「私の

育て方が悪かったんでしょうか…。」という保護者の方の悩みを聞くことがありますが、私は決してそうは思いません。どの保護者の方も、我が子を愛し、多くの答えの中から一番いいと思うものを選んで接してきたのだと思います。

学校教育も然り。教員は一人一人の子供を見つめ、多くの答えの中から、今一番その子に適していると考えた支援・指導を行います。その答えをより良いものにするために日頃の連絡や個人面談を含め様々なやりとりを通して御家庭から情報を得て共有し、判断の精度を高めていきます。逆に、教員から、学級だよりや連絡帳、電話などで学校でのお子様の様子を御家庭にお知らせすることが、御家庭での教育の一助、家庭での話題となれば幸いです。双方向の情報の交換と共有により、学校と家庭が協力して子供の成長支援に取り組んでいければと考えています。今月は個人面談があります。お忙しい中とは存じますが、よろしくお願いいたします。

また、地域の皆様からも子供たちの様子を伺えることは、子供たちの学校・家庭での学びが、どのように社会の中で実践できているのか分かる貴重な情報となります。いただいた御意見・御感想を含め、教育活動に生かしていきたいと思っております。

様々な活動を行うに当たり、できる限りの情報を集め、子供たちや御家庭の状況を鑑み、多くの答えの中から学校として最善と判断する一つの答えを導きますが、どのような手立て・方策を取っても反省点が見つかります。保護者・地域の皆様には、学校公開や学校行事、支援ボランティア等、学校にお越しいただき、お気づきの点をお知らせいただければと存じます。いただいたものを検討し、多くの答えの中から、富士見小の子供たちのため、保護者・地域の皆様のために一番いいと考えられる答えを求めていきたいと考えています。ぜひ多くの皆様のお力をお貸しくださいようお願いいたします。